

## I. 企業概要

設立	2000年3月27日		
業種	ギア-/動力伝達装置製造業	資本金	6,750(百万ウォン)
主な生産品	産業用減速機、ギア-	売上高 (2017年)	54,162(百万ウォン)
従業員	170名	輸出額	17,947(百万ウォン)
海外拠点 (輸出チャンネル)	日本への輸出実績あり		
技術導入に関する 希望形態	① 技術導入( ) ② ライセンシング(○) ③ 共同研究・開発( ) ④ 技術指導(○) ⑤ その他( )		

## II. 申請企業の技術開発現況

### ○ 当社保有技術の現状

： ギア-とギア-ボックスを専門に40年間設計および製造を行っている。建設重装備用、ギア-ボックス、製鉄設備用ギア-ボックスなどを生産している。

： Involute Gearの場合、AGMA14Classまで生産可能な設備と技術を保有しており、新しい市場参入のために、電気車両・航空・ロボットなど多様な分野でR&Dを進めている。

### ○ 導入希望技術の技術開発現況(導入希望技術 2点)

#### 1. 導入希望技術:

- 特殊歯形を利用した精密減速機の製造のために、1次投資を始め、3月には精密加工工場を完成させる予定。
- 精密減速機のサンプル制作は現在着手しており、3月にはサンプルの制作完了・試験を進める予定。

## III. 導入を希望する技術内容

## ○ 導入希望技術名

特殊歯形を利用した精密減速機的设计および製造技術

## ○ 技術の概念

-トロコイド曲線を応用した減速機は、Involute歯形を持つ減速機に比べ、片方のギア歯形が円形ローラーになっており、寿命が長く歯面接触率が優れている。Involute Gearに比べ場所をとらず減速比を高めるメリットがある。

-NEAR ZERO BACKLASHに近接する精密な性能を持つが、数値に関する理論および高精度加工技術が必要であり、世界的に1~2社が市場を独占している状況である。

## ○ 導入希望技術の特長および条件

- ZERO BACKLASHに近い精密減速機はロボットを含め4次産業で必要な精密制御装置においてコア部品である。(韓国国内ではすべて海外から輸入している)

- 導入技術の製品化を実現するための現実的技術導入が必要であり、設計から製造までの全般的な技術指導が必要である。

## ○ 技術の適用範囲

-Non-Involute ギアボックスの設計、ZERO BACKLASH精密減速機に関する技術(品質安定、製造工程、設備改善など)